

第 20 回中国地区大学男子ソフトボール選手権大会 1 回戦

期日:2020 年 10 月 10 日

会場:尾道市御調ソフトボール場 C、D 球場

▼1 日目 第 3 試合 C 球場

環太平洋大学 A	5445	18
島根大学	0000	0(規定により 4 回コールドゲーム)

環:景山(2 回)、安藝(1 回)、奥間(1 回) — 與儀

島:長谷川(2 回)、増成(2 回) — 東

本塁打:轉法輪(環)

三塁打:轉法輪(環)

二塁打:谷口(美)、與儀(以上環)

戦評

今回は、新型コロナウイルスの影響により 4 年生の引退試合も含めたオープン大会。本学からは A と B、2 チームのエントリーとなりました。

1 回表、1 番中村が四球で出塁、続く 2 番井上(翔)のセーフティバントが内野安打となり無死 1.2 塁。3 番井上(裕)は、センターへタイムリーヒットで 1 点先制しなお 1.3 塁。井上が盗塁に成功し 4 番谷口(雅)が粘った 12 球目をセンターへ犠飛により 2 点目。5 番大西も 3-2 からセンター前ヒット、6 番轉法輪が死球で満塁のチャンス。7 番谷口(美)が 1-2 からの 5 球目を左中間へタイムリーツーベースヒットで 2 者生還し 4 点目。1 死 2.3 塁から 8 番與儀がキッチリとセンターへ犠飛を打ち初回に打者一巡の猛攻により 5 点を奪った。

2 回には 3 四球と制球の乱れに乗じて 3 安打を絡めて 4 点を奪い打者一巡で 9-0。

3 回、4 四球に轉法輪のスリーランホームランが飛び出し打者一巡で 4 得点し 13-0。

4 回には、轉法輪の三塁打、與儀の二塁打を含む 4 安打により打者一巡で 5 得点し 18-0。

初回から4回までが、1番から始まる打者一巡と言う珍しい攻撃により大量18得点。

守っては、先発景山、安藝、奥間の投手リレーで4回を10奪三振と相手打線を寄せ付けず完封して準決勝へ駒を進めた。

▼1日目 第3試合 D球場

環太平洋大学 B	14011	7
広島修道大学	00000	0(規定により5回コールドゲーム)

環:上田(3回)、濱渦(2回) — 岩松
修:音間(2回、1回 1/3)若狭(1回 2/3) — 外丸

本塁打:松田、池田、橋本(以上環)

二塁打:岩松、桑村(以上環)

戦評

Bチームは広島修道大学戦の1回表、1番松田が2-1からセンターバックスクリーンへ先頭打者本塁打で幕を開ける。

2回表、この回先頭の6番柴田が死球で出塁すると、7番池田がセンターへツーランホームラン、続く8番橋本は1-3から豪快にレフトスタンド上段へソロホームランを叩きこんで4-0。この回、相手バッテリーのミスにより1点を追加し5-0。

4回は2死から、9番岩松、4番桑村の連続ツーベースで1点。

5回には、7番池田のこの日3本目とヒットと盗塁、代打森のタイムリーで7点目。

守っては、先発上田、濱渦の継投で相手打線を被安打1、11奪三振で完封して初戦を勝利した。